

物語をもとに自分の考えを書く

〈イソップ童話から考える〉

組 番 氏名

上野さんは図書室で、「イソップ童話」という本を見つけ、その中の「ウサギとカメ」というお話が気になりました。次の二人の会話を読んで後の問いに答えましょう。

上野さん① この「ウサギとカメ」というお話を知っているかな。

内田さん② ウサギとカメのかけっこの話でしょう。足の速いウサギはどんどん先へ行き、カメとの差がずいぶん開いたので、少しくらいは大丈夫だろうと、途中^とでいねむりをしたんだよね。でもカメは、それを横目に少しも休むことなく着実に進み、ウサギが目を覚ましたときには、カメがゴール^ルしていて、ウサギはがっかり、カメは大喜びをしたという話だよね。

上野さん③ そうそう。ところで私はこの話を読んで、主人公をウサギかカメのどちらかで考えることで、この話が伝えようとしていることが違っているようにみえるんだ。

内田さん④ どういうこと？

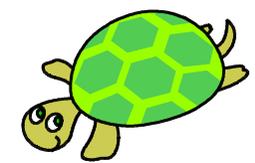
上野さん⑤ 例えば、ウサギを主人公として考えると、

「ウサギが油断したために、カメとのかけっこに負けた話」

となるよね。

内田さん⑥ なるほど。ではカメを主人公として考えると、

①



となるということかな。

上野さん⑦ そうだね。その人の見方や考え方によって、話のとらえ方が違ってくるんだね。

(二)

①

に当てはまる文章を「内田さん②」の会話をもとに、上野さん⑤の会話の線部を参考に、「カメがく話」の文の形に合うように書きましょう。

カメが

話

(二) あなたは、この「ウサギとカメラ」の話を、「ウサギ」または「カメラ」のどちらかを主人公として選んだ話であると考え、意見文を書くことにしました。

- ① 【主人公に選んだ動物】のうち、あなたが選んだ動物を○で囲みましょう。
- ② この話から感じたことを故事成語やことわざで表現します。あなたが選んだ動物を主人公とした時に適切だと考える故事成語やことわざを【表】にある「ことば」から一つ選び、【うったえかけてくることば】のらんに書きましょう。

【表】

ことば	ことばの説明
油断大敵	油断すると、思わぬ失敗を招くから、十分に気をつけるべきだ
あぶはちとらず	両方を手に入れようとすると、どちらも手に入らないことがある
雨垂れ石をうがつ	小さな力でも、根気よく続けていればいつか成果が得られる
雨降って地固まる	悪いことの後はかえって前より、よい結果や状態になるものだ

- ③ 次に、①と②をふまえ、意見文を書きます。【自分の経験】と【これからの自分】のそれぞれのらんに、次の条件に合わせて書きましょう。

条件

- ・【自分の経験】……選んだ動物と似ている自分の経験を書くこと。
- ・【これからの自分】……これから自分が取り組みたいと考えることを【うったえかけてくることば】と関係させながら書くこと。

【主人公に選んだ動物】

ウサギ

カメラ

【うったえかけてくることば】

【自分の経験】

私(ぼく)にも、

……という経験があり、

……このことばがぴったりの話だと考えます。

【これからの自分】

……これからは、「うったえかけてくることば」が示すように、

……です。